

# アコヤ養殖環境情報

## 2023 - 34号

(8月10日～8月16日観測)

令和 5年8月17日発行

<http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16052017292.htm>

三重県水産研究所

TEL 0599-53-0016

FAX 0599-53-2225

### ◎ 今後1週間程度の水温動向 (予測)

昇温傾向となり、**平年より高めで推移します。**

### ◎ 概況

- 水温等の状況 (8/17の英虞湾湾奥2～3m層の水温は 27～28℃台)  
英虞湾や五ヶ所湾等の内湾では、降雨や台風7号の通過に伴い、気温が低下した影響等により、先週に比べ1～2℃程度下がりました。
- プランクトンの状況  
英虞湾の全域で、先週に比べ、珪藻類が大幅に減少し、カレニア・ミキモトイが一部漁場で増加して確認されました。シャットネラ・アンティーカは確認されませんでした。赤崎の水深2mでヘテロカプサが1細胞/mL確認されました。

### 「三重県版アコヤタイムライン」

アコヤガイのへい死軽減に向けた「**三重県版アコヤタイムライン**」は、**7月6日(木)からステージ3(警戒)へ移行**しています。

真珠養殖業者の皆様には、**① 貝にとってストレスになる作業を中止、② 稚貝の漁場間の移動(特に湾をまたぐ移動)をしない、③ へい死等調査への協力**をお願いします。貝掃除やカゴ替え等、貝にとってストレスになる作業であっても貝を触らないといけない場合は、臨機応変な対応をお願いします。

### ◎ 英虞湾における有害プランクトンの発生状況

8/16に実施した英虞湾の定期観測結果を右表に示します。有害種であるカレニア・ミキモトイは、湾内の各所で確認され、立神や大明神、浜島では、8,920～1,400細胞/mLと、先週に比べて増加しました。神明や立神地区の研究会等でも検鏡で確認されました。現在のところ、五ヶ所湾や的矢湾など、他の内湾では確認されていませんが、台風7号の通過に伴って、海域の攪拌や陸水の流れ込みなど、海況に変化が生じています。今後は天候の回復が見込まれていますので、海域の着色など、同種の動向にご注意ください。なお、シャットネラ・アンティーカは確認されませんでした。

漁場名	採水時間 (時間)	水深 (m)	カレニア・ミキモトイ (細胞/mL)
立神	10:36	2	1,540
立神B	11:14	0	8,920
大明神前	11:05	2	1,400
横山	12:20	3	510
浅間	13:15	3	250
弁天	12:50	2	40
間崎	10:11	2	235
間崎ビーチ北沖	10:20	6.5	145
宝生苑前	10:28	5	73
タコノボリ	11:55	5	20
烏賊浦	12:04	2	2
和具	11:46	4	16
浜島	12:20	1.5	2,220

### ◎ 黒潮と沿岸水温(現況と今後の予測)

黒潮は、室戸岬沖を著しく離岸した後、潮岬沖を南下し、大王崎沖の北緯31°付近まで達した後、遠州灘沖から北上し、三宅島の南寄りを通過して北東へ流れています。蛇行北上部から熊野灘へ暖水波及がみられますが、その勢いは強くありません。降雨や台風7号の通過に伴い、内湾の表面水温は一時的に低下しました。

気象庁発表の2週間予報によれば、気温は、8/19以降は概ね平年より高め～かなり高めで推移すると予測されるため、今後の内湾水温は、再び昇温傾向となり、平年より高めで推移すると予測されます。



### 【英虞湾の水温】 ( )内は平年差

・自動観測ブイ(8月17日9時台) ※平年値: 湾央はタコノボリ20年平均、神明は4年平均、湾奥は19年平均

水深\観測点	湾央(越賀 3m,5m)うみログ	湾奥(神明)うみログ	湾奥(立神)うみログ
2～3m(平年差)	27.8℃ (+ 0.1℃)	28.3℃ (+ 0.5℃)	28.7℃ (- 0.4℃)
5m(平年差)	28.0℃ (+ 1.5℃)	28.0℃ (+ 1.8℃)	28.3℃ (+ 1.6℃)

・浜島定地水温(8月17日): 29.8℃ (平年差 + 2.0℃) ※平年値は1991-2020年の30年平均

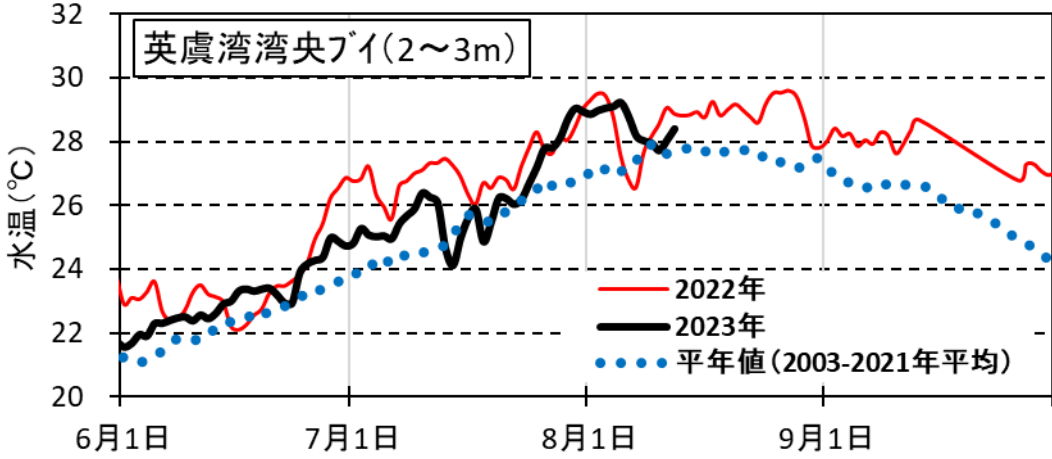
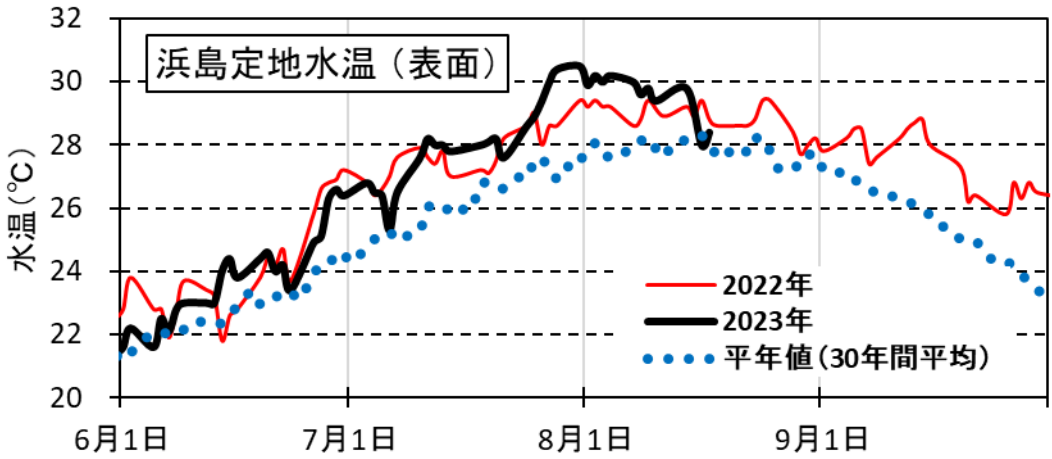
### 【的矢湾・五ヶ所湾・神前浦の水温】 ( )内は平年差

・自動観測ブイ(8月17日9時台) ※平年値: 的矢湾は16年平均、五ヶ所湾は13年平均、神前浦は6年平均

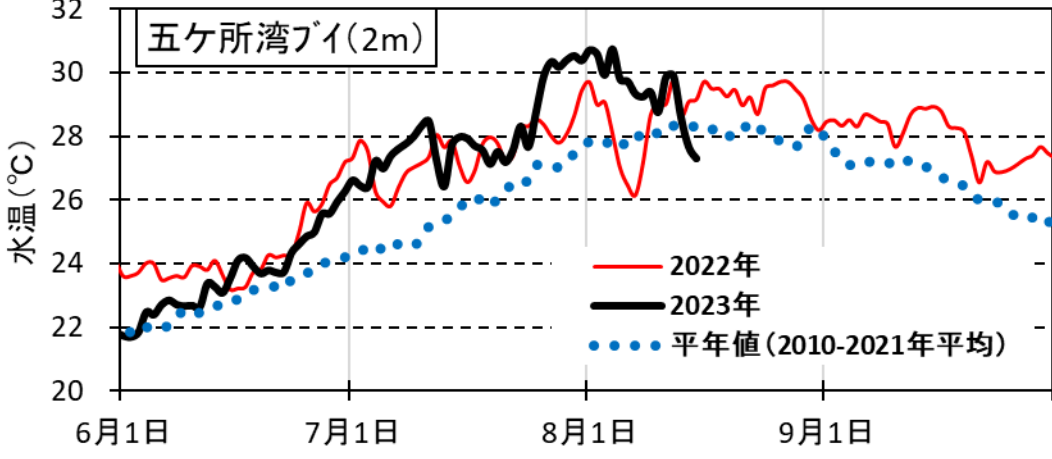
水深\観測点	的矢湾(三ヶ所)うみログ	五ヶ所湾(西原)うみログ	神前浦(小納戸)うみログ
2m(平年差)	26.6℃ (- 0.3℃)	27.5℃ (- 0.9℃)	27.2℃ (+ 0.2℃)
5m(平年差)	26.7℃ (+ 1.1℃)	—℃ (-℃)	27.9℃ (+ 1.5℃)

(今週は、全部で7ページです。)

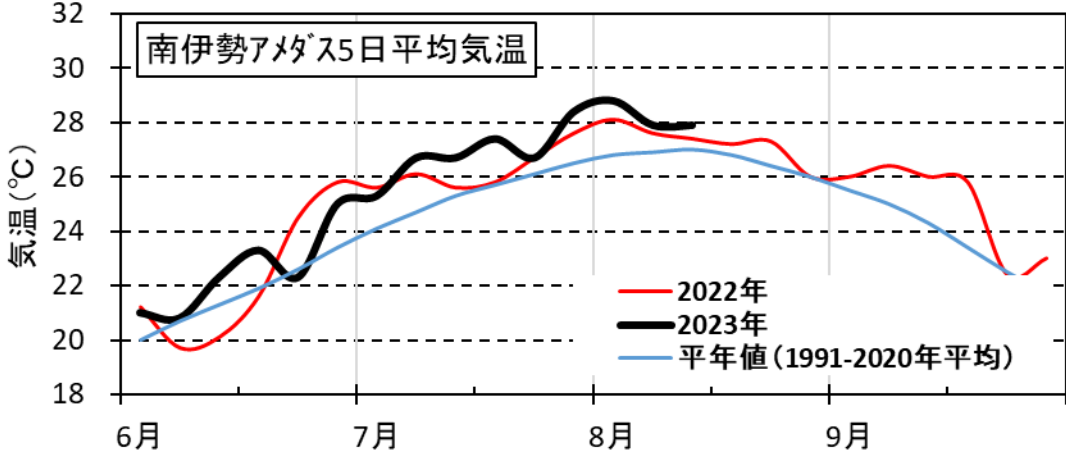
【 英虞湾と五ヶ所湾における水温、南伊勢アメダスの気温 】



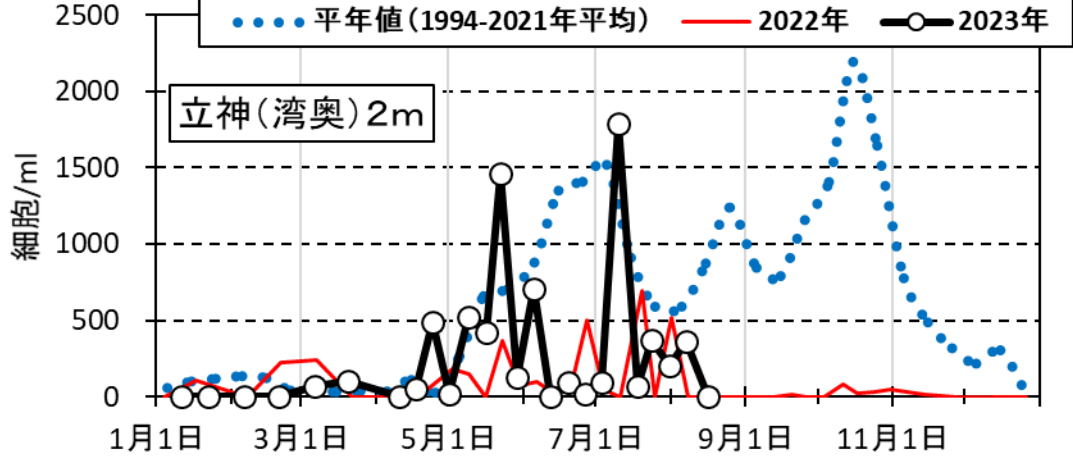
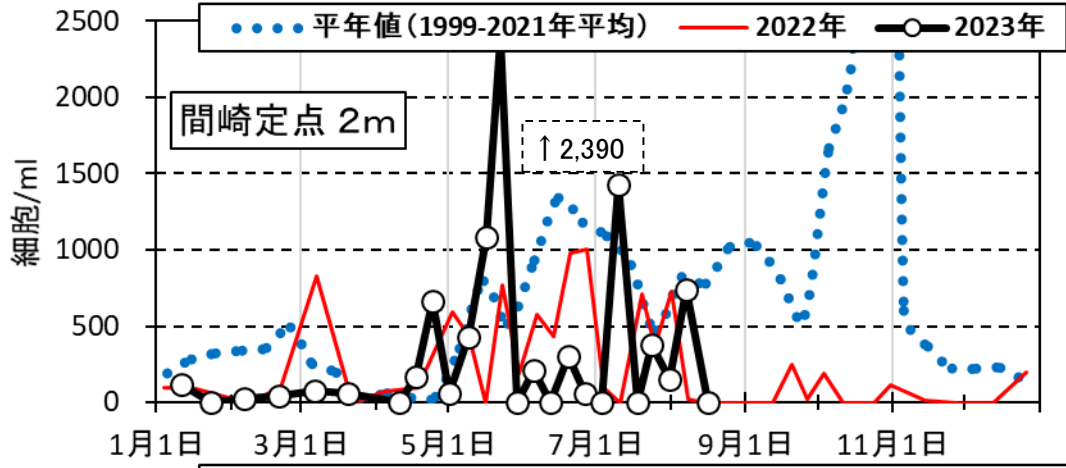
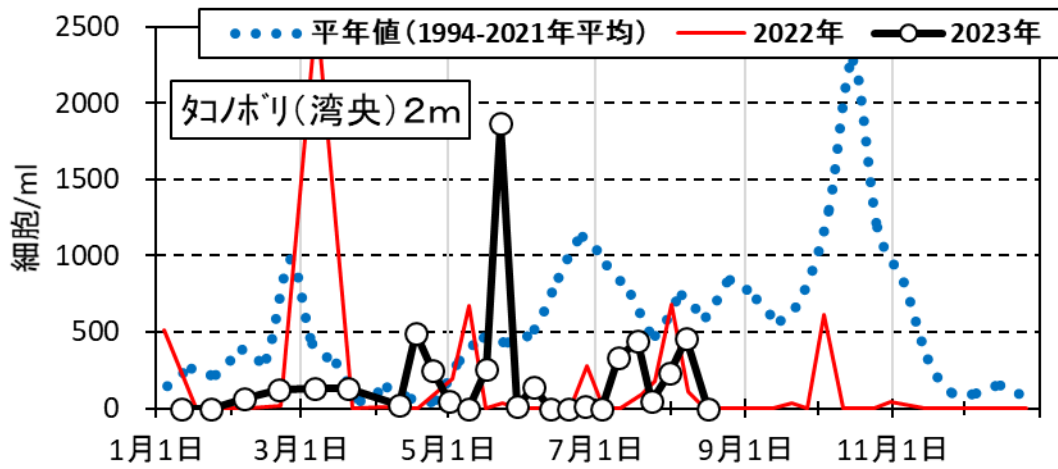
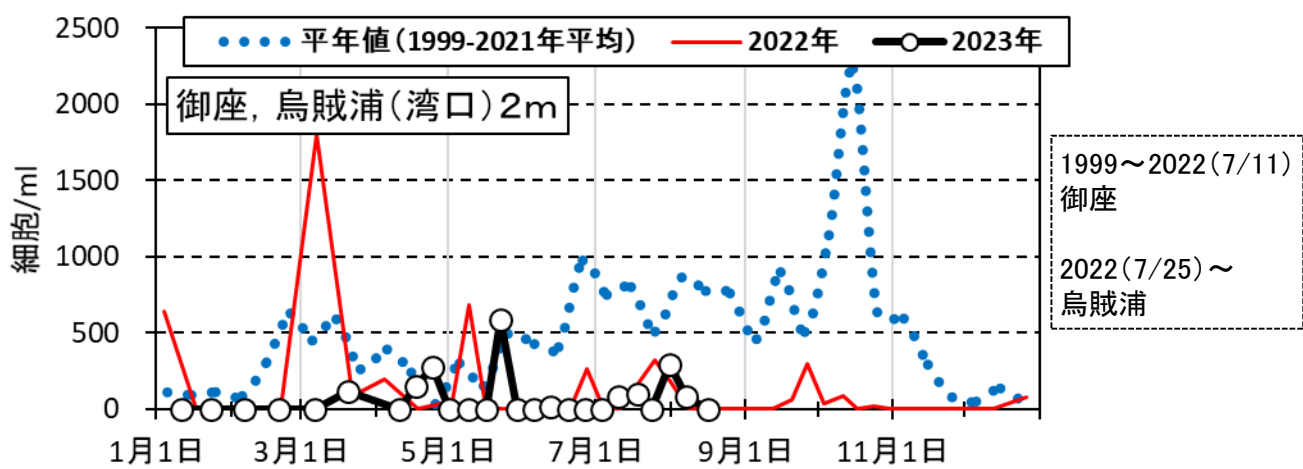
2023/3/1 10:00  
以降、うみログ越  
賀(3m)の水温



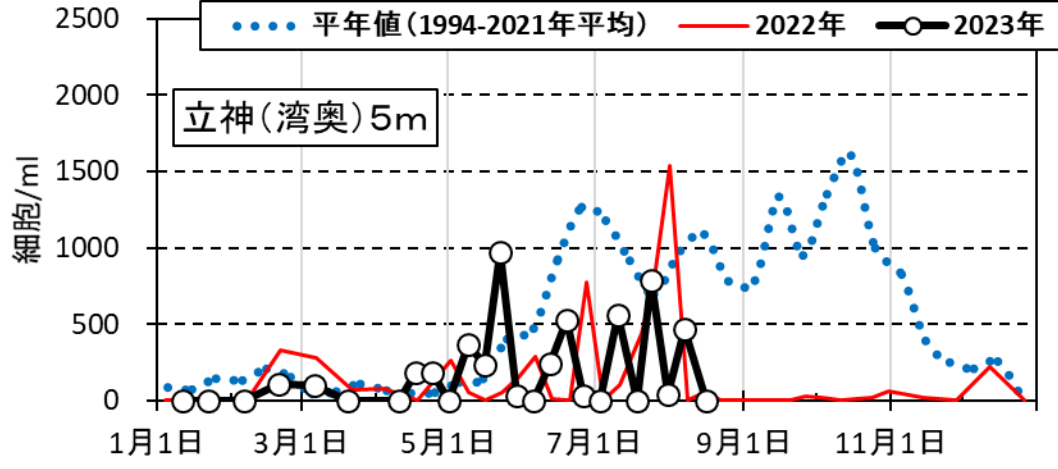
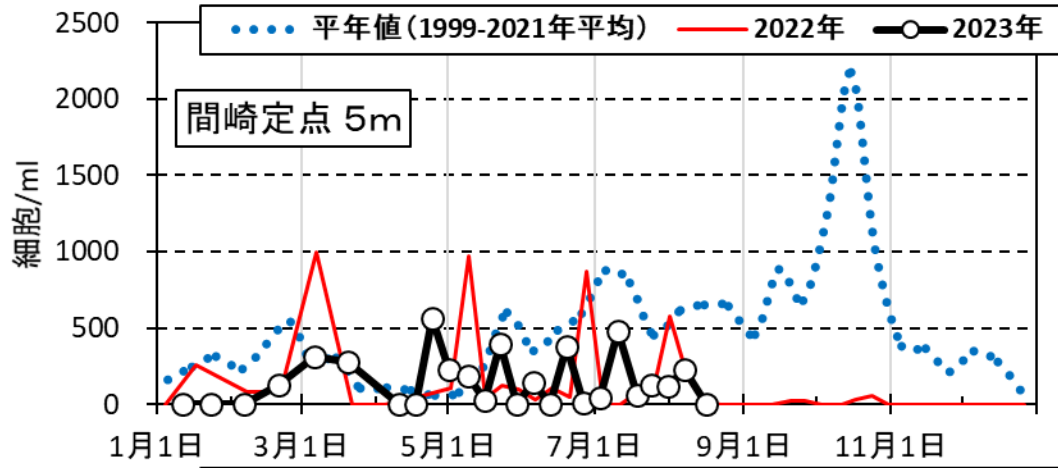
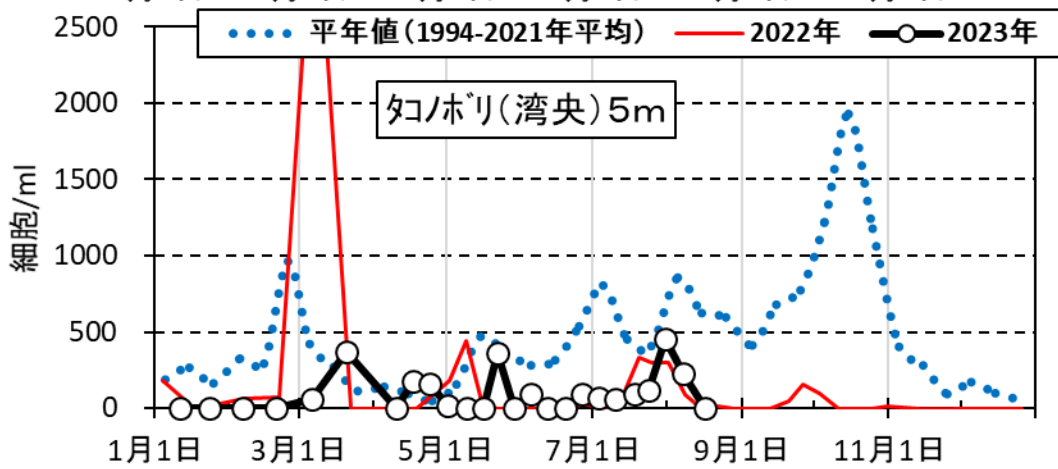
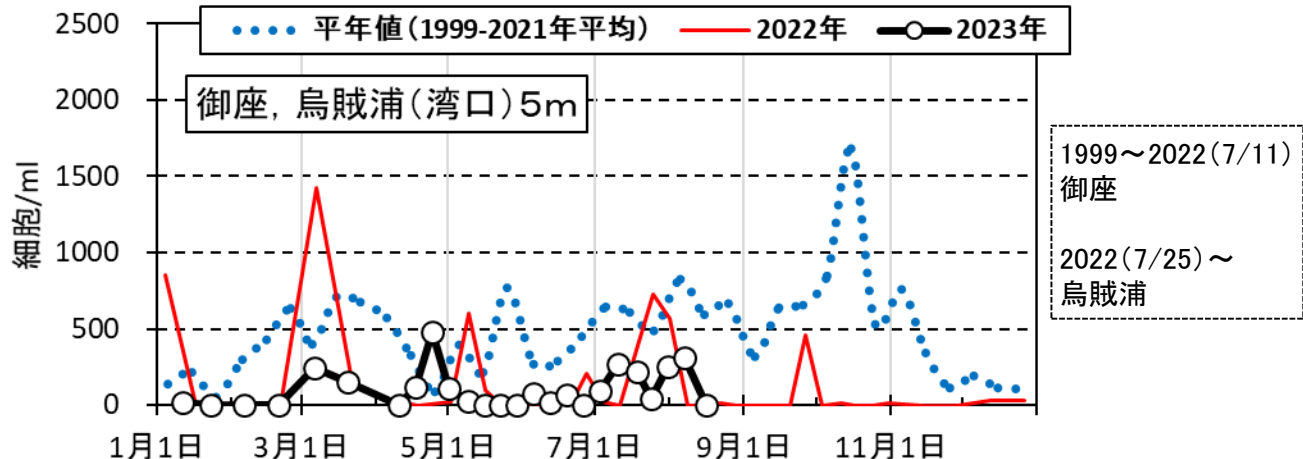
2022/12/6 10:00  
以降、うみログ西  
原(2m)の水温



【 英虞湾におけるプランクトン(珪藻類)の発生状況 】 2m層



【 英虞湾におけるプランクトン(珪藻類)の発生状況 】 5m層



# 【ポリドラ浮遊幼生調査結果】（2023年 8月16日）

## ●概況

ポリドラ浮遊幼生の個体数は、前回に比べ、両観測点ともに200～500 $\mu$ mおよび500 $\mu$ m以上の個体数は減少し、平年値を下回りました。次回の調査は、8月21日（月）の予定です。

幼生 \ 観測点	①立神(水研)	⑧半女
ふ化後7日～21日 (大きさ200～500 $\mu$ m)	2 (7)	0 (17)
ふ化後21日～40日 (大きさ500 $\mu$ m以上)	1 (14)	0 (11)

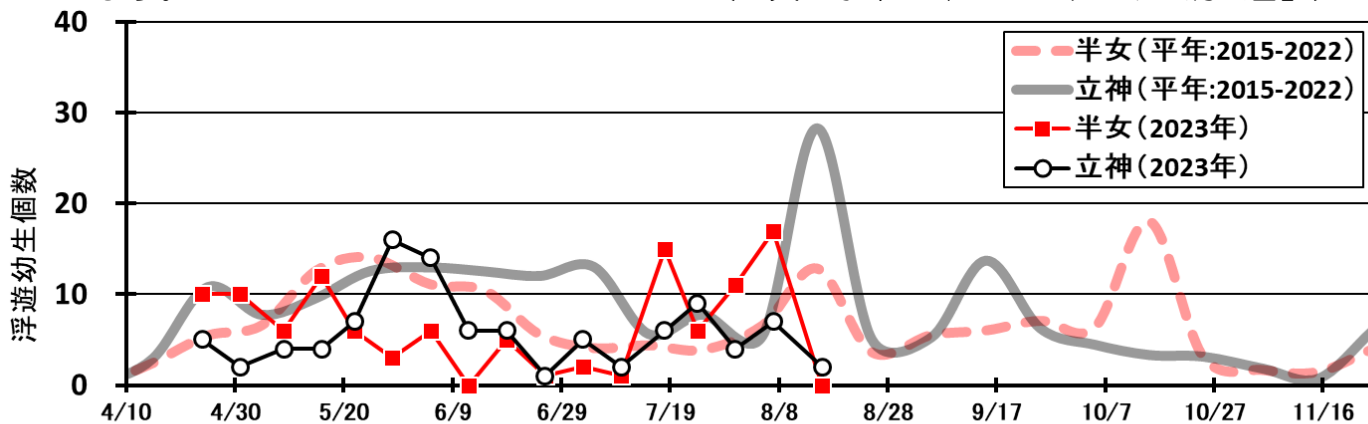
( ) 内の数字は前回の値

## ●調査方法

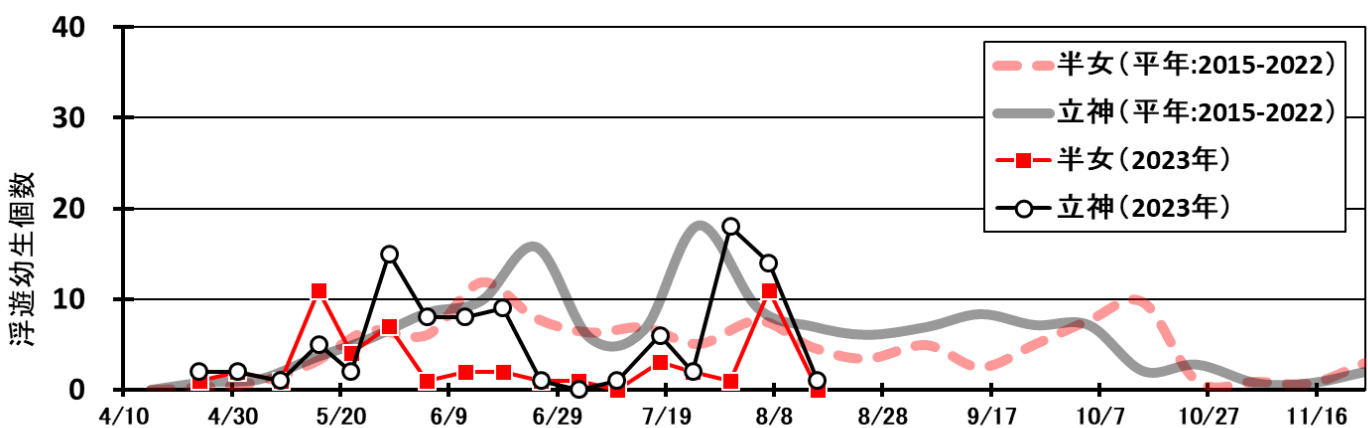
- ・北原式定量プランクトンネットで水深5mから鉛直曳き1回（ろ水量約200L）

## 【参考】ポリドラ

- ・貝殻穿孔性の多毛類でアコヤガイに着生し、病害を引き起こします。
- ・ふ化後30日～40日でアコヤガイ等に着生します。
- ・ふ化のピークの30日～40日後に濃塩水処理などを行うことが、駆除には効果的とされています。（出典：水本三郎「アコヤガイの病虫害」）



ポリドラ幼生(200 $\mu$ m以上 500 $\mu$ m未満、ふ化後21日未満)数の変化



ポリドラ幼生(500 $\mu$ m以上、ふ化後21日以上)数の変化

漁場名 観測日・機関名	水深 (m)	水温 (°C)	溶存 酸素	塩分	プランクトン(細胞/ml)		カニオ	プロセントラム	備考
					ヘテロカプサ	珪藻類	ミキトイ	デンターム	
<b>英虞湾</b>									
呼ヶ崎 8/9 10:20 立神	2	30.1	6.7		0	670	0	0	
	5	28.1	7.8		0	100	690	1,690	
	底	27.1	2.3		0	270	0	90	
大明神 8/9 7:00 立神	2	28.8	7.3		0	110	0	0	
	5	27.4	6.7		0	120	470	0	
	底				0	80	90	300	
越賀定点 8/13 12:00 越賀定点	1	29.7	8.8		0	90			
	3	29.8	8.5		0	260			
	5	28.5	8.7		0	90			
A 立神(水研) 8/16 10:36 水産研究所	0.5	28.0	6.4	32.8	0	0	351		
	2	27.9	6.5	32.8	0	0	1,540		
	5	27.6	5.5	33.2	0	0	50		
	8.4	27.6	5.1	33.2	0	0	1		
B 間崎定点1(高崎) 8/16 10:11 水産研究所	0.5	28.2	6.0	32.6	0	80	22		
	2	27.8	5.9	33.0	0	0	235		
	3.3				0	0	48		
	5	27.7	5.6	33.1	0	40	83		
	10	27.6	5.5	33.1	0	0	41		
18.5	27.5	5.0	33.2	0	0	1			
C タコノボリ(水研) 8/16 11:55 水産研究所	0.5	28.2	6.2	32.6	0	0			
	2	28.1	6.2	32.7	0	0	8		
	5	27.7	5.8	33.1	0	0	20		
	10	27.6	5.6	33.2	0	70	2		
	20	26.5	3.5	33.7	0	0			
25.6	26.0	3.1	33.8	0	0				
D 烏賊浦(水研) 8/16 12:04 水産研究所	0.5	28.0	6.0	32.6	0	0			
	2	27.9	5.8	33.1	0	0	2		
	5	27.8	5.6	33.2	0	0			
	10	27.7	5.5	33.3	0	0			
14.7	27.6	5.3	33.3	0	10				
立神B 8/16 11:14 水産研究所	0						8,920		立神と大明神 の間辺りの 着色海域
	1.1						8,130		
E 大明神前(水研) 水産研究所 8/16 11:05	0.5	28.1	5.9	33.0	0	150	213		
	2	27.7	5.2	33.2	0	0	1,400		
	5.8	27.6	3.4	33.3	0	120			
F ヒオウギ荘前 8/16 9:44 水産研究所	0.5	27.3	6.3	13.0	0	0	0		
	2	28.6	5.1	32.6	0	20	0		
	5	28.1	4.9	33.2					
	5.9	28.1	4.9	33.2	0	0	0		
G 和具(水研) 8/16 11:46 水産研究所	0.5	28.1	5.9	33.2					
	2	28.0	5.9	33.2					
	4						16		
	5	27.7	5.7	33.3					
	10	27.7	5.3	33.4					
16.2	26.8	3.6	33.7						
H 半女(水研) 8/16 11:33 水産研究所	0.5	28.1	6.1	31.5					
	2	28.0	5.9	31.8					
	5	27.8	5.2	32.9					
	6.7	27.5	4.5	33.3					

\*「ヘテロカプサ」はヘテロカプサ・サーキュリスカーマ(*Heterocapsa circularisquama*)

漁場名 観測日・機関名	水深 (m)	水温 (°C)	溶存 酸素	塩分	プランクトン(細胞/ml)		カネア		備考
					ヘテロカプサ	珪藻類	ミキモト	(2)	
<b>英虞湾続き</b>									
I 宝生苑前(水研) 8/16 10:28 水産研究所	0.5	28.1	6.0	31.3					
	2	27.7	5.8	33.0		10	37		
	5	27.6	5.6	33.0		0	73		
	10	27.5	5.0	33.1					
	20								
J 塩屋(水研) 8/16 12:17 水産研究所	0.5	27.8	7.2	17.1					
	2	28.2	6.0	32.1					
	5	28.2	5.7	32.9					
	7.4	28.1	5.5	33.0					
浜島(水研) 8/16 水産研究所	1.5						2,220		
和具定点 8/17 7:00 和具	0	28.2	6.5	33.0	0	0			
	2	28.2	6.7	33.0	0	0			
	5	28.3	6.4	33.0	0	0			
	8	28.3	6.3	34.0	0	0			
ミキモト前 8/16 10:00 ミキモト	0	27.9	6.5	32.3	0	151	8		
	2	27.8	6.4	32.9	0	91	28		
	5	27.7	6.1	33.1	0	70	78		
	10	27.7	6.0	33.2	0	40	10		
	B-1	27.5	5.5	33.3	0	17	2		
赤崎定点 8/16 11:00 ミキモト	0	28.2	6.7	33.0	0	311	1,960		
	2	28.1	6.6	33.0	1	443	2,256		ヘテロカプサ が2m層で1 細胞/mL確 認されました
	5	27.6	5.3	33.2	0	464	2,152		
	B-1	27.6	4.6	33.3	0	285	1,008		
立神浦(着色海域) 8/16 ミキモト	0						19,200		立神と大明神 の中間辺りの 着色海域
金山(うみログ) 8/17 9:00 三真協	1	28.7							
	2	28.7							
	5	28.3							
越賀(うみログ) 8/17 9:04 三真協	1	28.2							
	3	27.8							
	5	28.0							
神明(うみログ) 8/17 9:30 三真協	0.5	29.0							
	2	28.3							
	5	28.0							
<b>五ヶ所湾</b>									
西原(うみログ) 8/17 9:13 三真協	0.5	27.8							
	2	27.5							
<b>的矢湾</b>									
三ヶ所漁協前(うみログ) 8/17 9:30 三真協	1	28.2							
	2	26.6							
	5	26.7							
<b>神前浦</b>									
神前真珠養殖(うみログ) 8/17 9:12 三真協	2	27.2							
	5	27.9							
	8	27.7							

\*「ヘテロカプサ」はヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ(*Heterocapsa circularisquama*)